



## Chapter 1 入試

聖学院大学にはAO入試、推薦入試、自己推薦入試、一般入試の主に4つの異なった方式の入試があります。それぞれ受験生の持つ可能性を違う側面から見ていく入試で、それが学生の資質を伸ばしていくという聖学院大学の教育の特徴を表すものとなっています。

聖学院大学では16年前(1999年)からどのような学生に入ってもらいたいを示したアドミッション・ポリシーを学部・学科ごとに明確に示しています。それぞれの特色を理解して自分にあった学部・学科そして入試方式を見つけ出していくことから大学への一歩が始まります。

# 聖学院大学の教育方針(ポリシー)

聖学院大学は、開学の当初より「聖学院大学の理念10カ条<sup>※</sup>」(以下「理念」という)を擁し、プロテスタント・キリスト教の精神に基づく人格教育を行ってきた。それは、神によって創造されたかけがえのない存在である学生を愛し、その魂の健全な成長を配慮しつつ、リベラルアーツを基盤とする専門教育をととして各人の個性を引き出すことである。それは、コミュニケーション力や判断力などの業務遂行能力を高め、現代の市民社会の各分野でその担い手として貢献できる人物の育成にほかならない。

現在各大学は日本社会から「大学教育の質保証」を問われているが、本学はこの理念に基づく教育方針の貫徹をもってその応えとしたい。具体的には、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションに分けて以下のとおり「聖学院大学の教育方針」を宣言する。また各学部・学科・研究科ごとの固有の方針も掲げる。

※P.3参照

## ディプロマ・ポリシー

聖学院大学は、どの学部学科であれ、「理念」に即した精神性と価値観および総合的判断力を備え、かつ幅広い教養と専門的知識を身につけることにより、自由と人権を重んじ、隣人愛と使命感をもって人類の平和と福祉の実現のために社会の各分野で貢献できる人およびさらに大学院での専門研究へ発展させることのできる人の育成を目指し、指定の卒業履修単位を獲得した学生にそれぞれのディプロマを授与する。

## カリキュラム・ポリシー

聖学院大学は、上記ディプロマを授与されるにふさわしい学生の育成のため、礼拝と授業と大学行事をととして行われるキリスト教人格教育を中心としながら、一方では各学部学科の特性にあった基礎知識の充実と教養教育を深め、同時に各学部学科の専門教育を行う。

キリスト教人格教育とは、何よりも神によって創造されたかけがえのない存在である学生一人ひとりを愛し、その人格を重んじ、その魂の健全な成長を配慮しつつ、聖学院教育憲章に謳われている

「Only one for others」の精神をもって、人間一人ひとりの自由と人権を守り育成する教育である。そのために、少人数教育を重んじ、人と人との人格的な触れ合いを大事にしていく。

またこの人格教育を中心にして、基礎教育の充実とともに幅広い教養を身につけるためのリベラルアーツ教育を行っていく。これは、学生一人ひとりが、自分の置かれた状況を的確に判断し、自分にとっても他者にとってもより良い生き方ができる道を模索し、選び取り、行動できる、そうした主体性を確立する教育である。そして、こうした土台の上に、各学部・学科の専門教育が行われ、そのためのカリキュラム体系が形成される。

## アドミッション・ポリシー

聖学院大学は、上記カリキュラムに即した教育を受けるにふさわしい学生を選抜、あるいは見出すため、「理念」に共感し、神から与えられた固有の賜物を人間形成的に、学問的に本学で開花させたいと願う志望者を種々の選抜方法により、受け入れ、あるいは見出して行く。

## 聖学院大学はセンター試験を導入していません。

### 本学がセンター試験を導入しない理由

聖学院大学は独立行政法人大学入試センターが実施する「センター試験」を利用した入試を導入していません。全国の大学の約9割が何らかの形でセンター試験を利用している中で、志願者増につながり、その結果偏差値アップにつながるメリットがあるのになぜ参加しないのかと問われることが多くあります。本学は、ポリシーをもって「センター試験」利用入試を導入していません。それは以下の理由によります。

まず第一の理由として、聖学院大学はキリスト教大学ですので教職員が日曜礼拝を守るという立場から日曜日に入試を行うことを開学以来して

きませんでした。センター試験を導入することは、大学を試験会場として提供するだけでなく教職員が試験監督として働く仕組みとなっていますので、本学のアイデンティティであるキリスト教学校のよき伝統と相反することとなります。現在の「センター試験」の実施方法では本学として参加は難しいと判断しているわけです。

次にセンター試験の内容についてです。考える力よりも暗記にたよる問題が多く、受験のテクニックに流れがちです。本学ではできるだけ丁寧に受験生を見て、本学に合う学生を入学させたいと考えています。学力試験を課す本学の一般入試にお

いても、外部評価を入れるなど「入試問題の良問化」に努めています。最後に、大学の序列化の問題です。センター受験後の自己採点を予備校に委ね、これによって大学の入学難易度が決められている今のセンター試験の現状には疑問を感じざるを得ません。点数によるのではなく、むしろ点数化できない個性や人間性を元に本学の個性に合う学生に入学してもらいたい、そのためには、正しい評価基準を持った新しい入試制度を作ることこそ大切であると考えています。

## 各学科のアドミッション・ポリシー

聖学院大学の教育方針(ポリシー)は各学部・学科にも、それぞれ、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーと3つありますが、ここでは、各学科のアドミッション・ポリシーを紹介します。受験の際にはよく読んで参考にしてください。他のポリシーは、聖学院大学のホームページに掲載しています。

政治経済学部	政治経済学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 社会のさまざまな現場で通用する幅広い知識や教養を身につけ、経済活動、公務、地域活動などを通じて、積極的に社会的な役割を担い、貢献したい人を求める。</li> <li>② 社会の第一線で役立つ判断力・行動力を身につけ、企業・公務員・教員・進学など、将来の自分の可能性を見つけたい人を求める。</li> <li>③ 地域社会など多様なコミュニティの問題に関心・興味があり、公務、経済活動、地域活動を通して地域社会の活性化に関わりたい人を求める。</li> </ul>
	欧米文化学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ヨーロッパやアメリカの文化に触れることで、自分の視野や考え方、生き方、行動力を広げたい人を求める。さらに実社会で必要になる理解力、考察力、文章表現力、コミュニケーション力を伸ばして、国内外で活躍したい人を歓迎する。</li> <li>② 海外留学をしたい人、将来海外で活躍したい人、英語を用いて働きたい人、英語が好きな人や伸ばしたい人、欧米の諸言語を学びたい人など、留学生とともにコミュニケーション力を活躍の力にしたい人を求める。</li> <li>③ キリスト教を基盤とした考え方を学ぶことをとおして、「よく生きる」ということをじっくり考え、他者に関わるうとする人を求める。</li> </ul>
人文学部	日本文化学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 知的的好奇心と柔軟な感性を大事にしなが、学習および文化的活動に自主的・意欲的に取り組むことのできる人を歓迎する。</li> <li>② 日本の歴史・文学・思想・文化のさまざまな領域について、高校までの学習を土台として、さらに幅広く深く学びたいと思っている人を求める。</li> <li>③ 日本の文化を多面的に学ぶことで、グローバル化する世界の中での自己の位置を知り、かつ他者に対する態度を正しく身につけたいと考えている人を受け入れる。</li> </ul>
	児童学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 子どもの人格に真向かい、個々の状況に共感して細やかに理解し、それぞれの発達に応じた関わりや教育的配慮をしつつ、原点から人間を知ろうと努力する学生を求める。</li> <li>② 日頃から身のまわりのことに関心をもって、人や物との関わりあいを大切に、仲間と協同して活動し、より良い人間関係を築こうという意欲をもち、教育や保育に携わることを希望する学生を求める。</li> <li>③ 他者の立場に立って自身の考えや行動を組み立て、他者に伝わるようにそれを表わそうとし、自己の主張にとらわれず、他者の声に耳を傾けて自らの人格に磨きをかけることをもなす学生を求める。</li> </ul>
人間福祉学部	こども心理学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 喜びや怒り、苦しみや悲しみなど、その時々で変化するこどもの「こころ」に共感しながら、なぜそのような「こころ」が生じるのかについて強い関心と興味を抱く学生を求める。</li> <li>② 人と社会との関わりに関心があり、こどもと自分、友だちと自分、大人と自分、多様な人々と関わるのが楽しいと感じる。そして、今よりさらに良い人間関係を築くことに意欲が持てる学生を求める。</li> <li>③ こどもが置かれている状況は、常に変化し続けている。生活環境や時代の変化、アジアとヨーロッパなどの文化の違い、経済状況の変化などが、こどもの人格形成にどんな影響を及ぼすのかなどを考えることに深く興味を抱くことができる。その上で、具体的に生じているこどもを巡る出来事への対応に力をつくしたいという学生を求める。</li> </ul>
	人間福祉学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「神を仰ぎ、人に仕う」という建学の精神を基盤にして、「福祉のこころ(困難を抱えた人々への献身と平等志向)」をもち、人間福祉と福祉社会の実現に寄与することを希求し実践する人を求める。</li> <li>② 高等学校と大学の連携による一貫した福祉スペシャリスト育成をめざすため、これまでに何らかの福祉および関連の勉学をしてきた学生に、より高度な専門職への道をたどることを期待する。</li> <li>③ 質の高い社会福祉や実践のあり方をともに探究できる意欲ある学生(自らに課題を有する学生を含め)を求める。</li> <li>④ 国際(アジア型)社会福祉のあり方を探求し、その担い手となりうる人を求める。</li> </ul>

# 2015年度入試結果

## 全入試結果 ※特別入試(社会人・帰国生・留学生)・秋学期入試を含み、再入学・編入学は含まれておりません。

学部	学科	募集定員	入試結果			合格者内訳			倍率 受験者/合格	入学者	
			志願者	受験者	合格者	現役	既卒者	女子		総数	女子
政治経済	政治経済	160	249	238	202	112	90	52	1.2	146	44
人文	欧米文化	80	97	90	83	54	29	33	1.1	54	25
	日本文化	80	119	108	99	81	18	30	1.1	65	20
人間福祉	児童	100	184	175	142	131	11	78	1.2	100	53
	こども心理	80	79	76	73	64	9	36	1.0	44	23
	人間福祉	80	87	83	83	71	12	34	1.0	63	27
合計		580	815	770	682	513	169	263	1.1	472	192

## AO入試【レポート型】【講義型】【英語特別】結果 (審査日 【講義型】【英語特別】 ①2014年8月23日 ②9月20日 ③10月18日 ④12月20日 ⑤2015年1月24日)

学部	学科	募集定員	エントリー	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 エントリー/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	41	-	-	29	24	5	5	1.4	28	4
人文	欧米文化	30	20	-	-	19	16	3	13	1.1	18	12
	日本文化	30	24	-	-	18	18	0	8	1.3	17	7
人間福祉	児童	40	67	-	-	49	45	4	24	1.4	46	22
	こども心理	30	26	-	-	23	20	3	12	1.1	23	12
	人間福祉	30	26	-	-	26	22	4	11	1.0	25	11
合計		210	204	-	-	164	145	19	73	1.2	157	68

※児童学科は【レポート型】【英語特別】の募集はありませんでした。 ※こども心理学科・人間福祉学科は【英語特別】の募集はありませんでした。

## 推薦入試結果 (公募推薦・審査日 ①2014年11月8日 ②12月20日)

※公募・指定校推薦・クリスチャン・キリスト教関係者推薦を含みます

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	55	22	22	22	6			1.0	22	6
人文	欧米文化	25	12	12	12	5			1.0	12	5
	日本文化	25	23	23	23	8			1.0	23	8
人間福祉	児童	30	38	38	36	22			1.1	36	22
	こども心理	25	12	12	12	7			1.0	12	7
	人間福祉	25	28	28	28	13			1.0	28	13
合計		185	135	135	133	61			1.0	133	61

## 自己推薦入試・スポーツ推薦入試結果 (自己推薦・審査日 2015年1月17日)(スポーツ推薦・審査日 ①2014年9月20日 ②12月20日 ③2015年1月17日)

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	5	6	6	6	6	0	2	1.0	6	2
人文	欧米文化	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
	日本文化	5	2	2	2	2	0	1	1.0	2	1
人間福祉	児童	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	こども心理	5	1	1	1	1	0	0	1.0	1	0
	人間福祉	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
合計		25	9	9	9	9	0	3	1.0	9	3

※児童学科は【自己推薦・スポーツ推薦】の募集はありませんでした。

一般入試A日程結果 (試験日 2015年2月3日) ※点数は200点満点

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	最高点	合格 最低点	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	42	42	41	34	7	3	162	71	1.0	10	1
人文	欧米文化	20	16	15	14	11	3	4	150	71	1.1	2	0
	日本文化	20	25	25	25	18	7	5	152	78	1.0	9	1
人間福祉	児童	30	43	41	33	30	3	19	171	117	1.2	6	2
	こども心理	20	25	25	24	20	4	13	175	73	1.0	4	2
	人間福祉	20	10	10	10	10	0	3	163	65	1.0	1	0
合計		160	161	158	147	123	24	47	-	-	1.1	32	6

一般入試B日程結果 (試験日 2015年2月13日) ※点数は200点満点

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	最高点	合格 最低点	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	18	12	11	11	0	3	191	101	1.1	3	1
人文	欧米文化	20	11	7	6	5	1	2	163	128	1.2	2	1
	日本文化	20	21	14	14	12	2	4	169	97	1.0	2	0
人間福祉	児童	30	23	18	16	14	2	10	169	114	1.1	7	5
	こども心理	20	6	5	5	4	1	2	147	99	1.0	0	0
	人間福祉	20	7	6	6	4	2	4	164	92	1.0	1	1
合計		160	86	62	58	50	8	25	-	-	1.1	15	8

一般入試C日程結果 (試験日 2015年3月2日) ※点数は200点満点

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	最高点	合格 最低点	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	20	18	15	8	7	3	165	109	1.2	7	2
人文	欧米文化	20	13	11	10	8	2	1	165	79	1.1	2	1
	日本文化	20	11	8	8	7	1	1	160	79	1.0	3	0
人間福祉	児童	30	12	11	7	5	2	2	138	121	1.6	4	1
	こども心理	20	7	6	6	6	0	1	150	77	1.0	2	1
	人間福祉	20	7	6	6	5	1	1	146	79	1.0	1	0
合計		160	70	60	52	39	13	9	-	-	1.2	19	5

一般入試D日程結果 (試験日 2015年3月11日)

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	最高点	合格 最低点	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	7	6	6	6	0	1	-	-	1.0	6	1
人文	欧米文化	20	1	1	1	1	0	1	-	-	1.0	0	0
	日本文化	20	1	1	1	1	0	1	-	-	1.0	1	1
人間福祉	児童	30	1	1	1	1	0	1	-	-	1.0	1	1
	こども心理	20	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0
	人間福祉	20	3	3	3	2	1	1	-	-	1.0	3	1
合計		160	13	12	12	11	1	5	-	-	1.0	11	4

※審査方法が小論文・面接のため、最高点/合格最低点は掲載していません。

一般入試E日程結果 (試験日 2015年3月20日)

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	最高点	合格 最低点	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	6	5	5	1	4	1	-	-	1.0	4	1
人文	欧米文化	20	1	1	1	1	0	0	-	-	1.0	1	0
	日本文化	20	2	2	2	0	2	0	-	-	1.0	2	0
人間福祉	児童	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	こども心理	20	1	1	1	1	0	0	-	-	1.0	1	0
	人間福祉	20	1	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0
合計		160	11	9	9	3	6	1	-	-	1.0	8	1

※審査方法が小論文・面接のため、最高点/合格最低点は掲載していません。

※児童学科は一般入試E日程の募集はありませんでした。

※一般入試の募集定員はA～E日程全体で、政治経済学科は50名、児童学科は30名、その他の学科は各20名でした。

学科が求める学生像に従い、意欲や将来の志望、人間性などを総合的に評価する

# AO (アドミッションズ・オフィス) 入試

- Point. 1 点数化できない意欲や将来への展望、人間性を面談と課題レポートや講義のノートテキングを通して審査します。
- Point. 2 課題に真剣に取り組む、その中から問題を発見し、その解決に努力する前向きな姿勢を評価します。
- Point. 3 「レポート型」「講義型」「英語特別」の三つの方式から選べます。

## 選考のポイント

本学ではAO入試を1999年に全国に先駆けて早い段階で導入しました。今年度で16年が経過するわけですが、その間に毎年、審査方法を何度も見直し、高校にもAO入試の考え方や本学が求める学生像を伝える努力してきましたので、「聖学院大学のAO入試」として理解されるようになってきました。一人ひとりを大切にするという本学の建学の精神がよく表れた入試です。エントリーしてきた受験生にしっかりと向き合うことを行っていますので、みなさんも真剣に取り組んでください。

「レポート型(課題設定)」では、オープンキャンパスなどでまず「事前相談」が行われます。「事前相談」でエントリーが認められなければ「レポート型(課題選択)」でのエントリーはできません。エントリーを希望される方は早めにオープンキャンパスなどに参加して必ず希望される学科の教員に「事前相談」をしてください。(なお児童学科は「レポート型」での募集はありません。)

「講義型」は、大学での学びの基本となる「ノートテキング」で講義に臨む姿勢や意欲、まとめる力などを見ていくものです。講義を聞いてノートを取り、さらにそのノートを整理して提出します。その上で面接が行われます。学科によっては「グループ面接」の形式で行われることもあります。「講義型」は「事前相談」がなくてもエントリーできますが、学科の教員との面談をおすすめします。

「講義型」でのエントリーを考えている方にはオープンキャンパスに参加して大学の講義がどのように行われるのかを体験しておくことをお勧めします。高校生の受験生がとまどうことがないように、講義もできるだけノートを取りやすいように工夫してあります。

両形式とも高校との連携も大事にして審査がすすめられていきますので、困ったこと、わからないことがあったら担任の先生にも相談してみてください。

詳しくは『AO入試ガイド』をご参照ください。また、オープンキャンパス等で配布する『AO入試のポイント』『小論文のポイント』も参考にしてください。

## 2015年度AO入試概要

※2016年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

### 募集定員

<b>■政治経済学部</b> ・政治経済学科 50名	<b>■人文学部</b> ・欧米文化学科 30名 ・日本文化学科 30名	<b>■人間福祉学部</b> ・児童学科 *40名 ・こども心理学科 30名	・人間福祉学科 30名	*児童学科はAO入試[レポート型・英語特別]方式での募集はありません。
-------------------------------	--	--	-------------	-------------------------------------

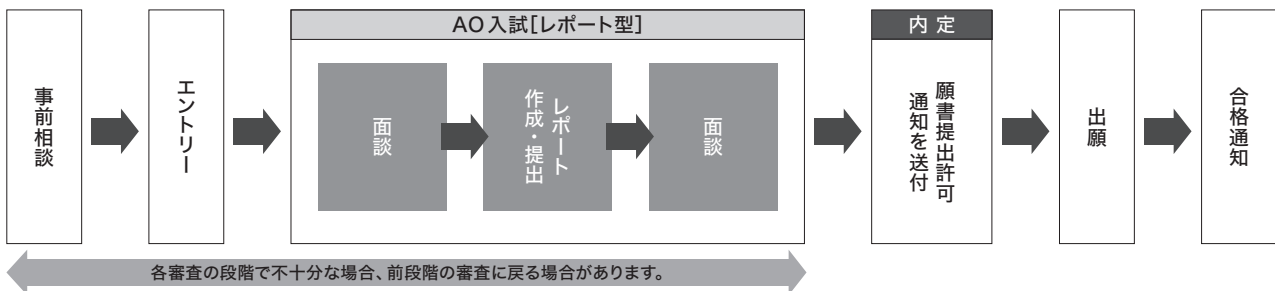
### エントリーカード(レポート型/講義型)・出願(英語特別)受付期間(参考)

入試区分	審査日	郵送受付	窓口受付	インターネット受付
レポート型	—	2014年 8月 1日(金)～2015年1月30日(金)	—	—
講義型 英語特別	I期: 8月23日(土)	2014年 8月 1日(金)～ 8月20日(水) [必着]	2014年 8月20日(水)9:00～12:00	2014年 8月20日(水) (正午)迄
	II期: 9月20日(土)	2014年 8月 1日(金)～ 9月17日(水) [必着]	2014年 9月17日(水)9:00～12:00	2014年 9月17日(水) (正午)迄
	III期: 10月18日(土)	2014年 9月 1日(月)～10月15日(水) [必着]	2014年10月15日(水)9:00～12:00	2014年10月15日(水) (正午)迄
	IV期: 12月20日(土)	2014年11月10日(月)～12月17日(水) [必着]	2014年12月17日(水)9:00～12:00	2014年12月17日(水) (正午)迄
	V期: 2015年1月24日(土)	2014年12月10日(水)～2015年1月21日(水) [必着]	2015年 1月21日(水)9:00～12:00	2015年 1月21日(水) (正午)迄



## レポート型

### AO入試[レポート型]の流れ



**審査方法** 面談方式＝レポート・資料・課題等の提出による面談

**面談[審査]日** 面談(初回)の実施日時は、エントリー者に別途連絡します。ただし、面談を受けるには、面談実施予定日の3日前までにエントリーカードを提出(郵送必着)しなければなりません。面談(2回目)の実施日は、面談(初回)終了後連絡します。レポートの完成まで、面談(2回目以降)は複数回行うことがあります。

**提出書類** エントリー時＝エントリーカード 内定者書類提出(出願時)＝入学願書(検定料含む)・調査書

### AO入試[レポート型] 2015年度入試結果

学部	学科	募集定員	入試結果				合格者内訳			倍率	入学者	
			エントリー	志願者	受験者	合格者	現役	既卒者	女子		エントリー/合格	総数
政治経済	政治経済	50	9	-	-	1	1	0	0	9.0	1	0
人文	欧米文化	30	3	-	-	3	2	1	1	1.0	3	1
	日本文化	30	6	-	-	4	4	0	1	1.5	4	1
人間福祉	児童	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	こども心理	30	8	-	-	7	5	2	3	1.1	7	3
	人間福祉	30	13	-	-	13	10	3	6	1.0	13	6
<b>合計</b>		210	39	-	-	28	22	6	11	1.4	28	11

※募集定員はAOレポート型・講義型・英語特別合計

※児童学科は(レポート型)の募集はなし。

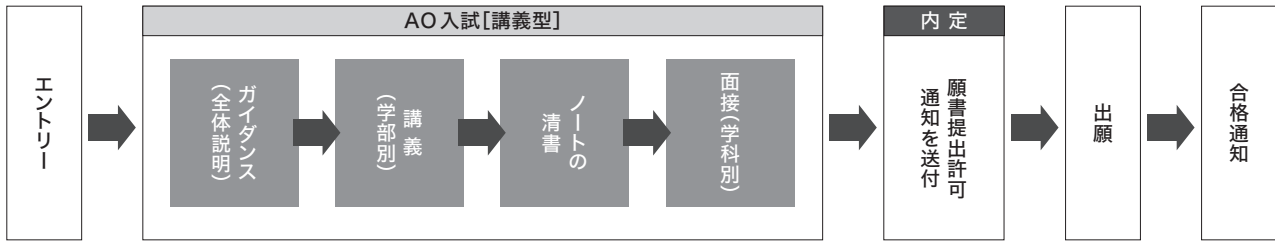
※エントリー(政治経済)に他入試併願者8名含む

### 過去の合格者レポートタイトル

政治経済学部	政治経済学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アメリカ政治から学ぶべきこと</li> <li>● 浦和レッズが地域活性化に与えた影響</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハイブリッド車への転換理由</li> <li>● 上尾市の住みよいまちづくり政策について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オリンピックの経済状況で得する人損する人</li> </ul>
人文学部	欧米文化学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イタリアと日本の食文化</li> <li>● ホラー映画の日米比較</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界遺産ロワールの古城の歴史的背景</li> <li>● ヨーロッパにおける日本のポップカルチャーブーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 西洋のファッション史</li> </ul>
	日本文化学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 陽成天皇の生涯と歌</li> <li>● 『千と千尋の神隠し』における少女の成長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「進撃の巨人」と北欧神話との関係性</li> <li>● くらしの中の日本のしきたり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 白虎隊は何故、自刃の道を選んだのか</li> </ul>
人間福祉学部	こども心理学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学生いじめの動向と支援対策について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どものトラウマケア～トラウマケアプログラムを通して～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 場面緘黙への支援</li> </ul>
	人間福祉学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現代の思春期のこどもが抱えるこころの問題とその支援</li> <li>● 絵を使った心理療法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 知的障害者の暮らしやすい社会とは－弟の事例から－</li> <li>● ボーイスカウトにおけるバリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者のレクリエーション活性化の現状と展望</li> </ul>

## 講義型

### AO入試[講義型]の流れ



- 審査方法** 「講義を受ける」「ノートの清書」「面接」で構成。  
講義を受け、面接時に、何をどう感じたかを質疑応答することで可否の判断をします。  
【入試の流れ】  
①ガイダンス(全体説明)＝入試の流れ、受験上の注意などの説明。  
②講義を受ける＝講義を受けながら大学で用意した下書きノートにメモをとる。講義50分、質疑応答10分。  
③ノートの清書＝講義中に取った下書きノートのメモを元に、ノートを清書して提出。ノートの清書時間60分。  
④面接＝下書きノートを持ち面接を受けます。講義について、志望理由、将来の進路についてなどを質問します。「グループ面接」を実施する場合があります。
- 提出書類** エントリー時＝エントリーカード・エントリー票・副票  
内定者書類提出(出願時)＝入学願書(検定料含む)・調査書

### AO入試[講義型] 2015年度入試結果 (審査日 ①2014年8月23日 ②9月20日 ③10月18日 ④12月20日 ⑤2015年1月24日)

学部	学科	募集定員	入試結果				合格者内訳			倍率	入学者	
			エントリー	志願者	受験者	合格者	現役	既卒者	女子		エントリー/合格	総数
政治経済	政治経済	50	32	-	-	28	23	5	5	1.1	27	4
人文	欧米文化	30	11	-	-	11	10	1	8	1.0	11	8
	日本文化	30	17	-	-	13	13	0	6	1.3	12	5
人間福祉	児童	40	67	-	-	49	45	4	24	1.4	46	22
	こども心理	30	17	-	-	15	14	1	8	1.1	15	8
	人間福祉	30	12	-	-	12	11	1	4	1.0	11	4
合計		210	156	-	-	128	116	12	55	1.2	122	51

※募集定員はAOレポート型・講義型・英語特別合計

## 英語特別

英検準2級以上の資格が必須の入試です。英語の語学力をいかして何がしたいのか、何を学びたいのかを見る入試です。

- 受験資格** 英検準2級以上に合格していること
- 審査方法** 面接
- 提出書類** エントリー時＝エントリーカード・エントリー票・副票、  
英検準2級以上の合格証明書(コピー可)  
内定書類提出(出願時)＝入学願書(検定料含む)、調査書

### AO入試[英語特別] 2015年度入試結果 (審査日 ①2014年8月23日 ②9月20日 ③10月18日 ④12月20日 ⑤2015年1月24日)

学部	学科	募集定員	入試結果				合格者内訳			倍率	入学者	
			エントリー	志願者	受験者	合格者	現役	既卒者	女子		エントリー/合格	総数
政治経済	政治経済	50	0	-	-	0	0	0	0	-	0	0
人文	欧米文化	30	6	-	-	5	4	1	4	1.2	4	3
	日本文化	30	1	-	-	1	1	0	1	1.0	1	1
人間福祉	児童	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	こども心理	30	1	-	-	1	1	0	1	1.0	1	1
	人間福祉	30	1	-	-	1	1	0	1	1.0	1	1
合計		210	9	-	-	8	7	1	7	1.1	7	6

※募集定員はAOレポート型・講義型・英語特別合計  
※児童学科は(英語特別)の募集はなし。



## 2015年度AO入試[講義型]の講義内容

<p><b>政治経済学科</b></p>	<p><b>8月</b> 対立する論点を読み解く、これがこの講義のテーマです。一つの物事に対して多くの場合賛成・反対の対立する意見が存在します。なぜ対立する意見が生ずるのか、その理由を読み解きます。題材としては、カジノ解禁の是非です。特に自分の意見と対立する視点を十分理解できるのか、反対意見への冷静な検討の重要性をここで学びます。</p> <p><b>9月</b> 4つの具体的な事例を挙げながら「近代化に必要な倫理と人間観」について考えてみました。その考察を踏まえながら「経済学」とは何かについて、学びました。</p>	<p><b>10月</b> デモクラシーは誰でも知っている概念ですが、意外と常識的理解にも再考を要する問題点があります。学問は疑うという基本姿勢が大切です。たとえば、リンカーンの「人民の、人民による、人民のための政治」は、デモクラシーの定義として知られていますが、この解釈に問題はないでしょうか。また、選挙公約は守らねばならないという考えがちですが、それへの反論はないものでしょうか。今回、この2点を再検討してみましょう。</p> <p><b>12月</b> ー 史上最大規模のダム撤去による河川生態系回復事業 ー アメリカ合衆国ワシントン州に世界有数の豊かな温帯雨林で覆われたオリンピック国立公園を抱くオリンピック半島があります。1981年に世界遺産に登録されたこの国立公園の域内に20世紀初頭に2基の大型ダムが入ったエルワ川が流れています。2011年9月15日竣工から既に1世紀を経たこれらのダムの撤去工事が始まった。この「エルワ川生態系回復計画」(ダムを壊して 取り除いて川の自然を取り戻す計画)について、映像資料を観ながら考えます。</p>
<p><b>欧米文化学科 日本文化学科</b></p>	<p><b>8月</b> 辞書が整っていないなかで『解体新書』を翻訳した杉田玄白、オランダ語を捨てて英語を学び直し、翻訳語とともに欧米のさまざまな社会制度や生活概念を日本の社会や人々に紹介した福澤諭吉を例に、翻訳がより必要とされた時代の状況をみることで、翻訳の重要性・翻訳の必要性についてあらためて考えることを狙いとしてしました。また、言葉を学ぶことが新知識の獲得につながることを知り、入学後の学習への心構えにもしてほしいと願っています。</p> <p><b>9月</b> ベンジャミン・フランクリンは、独立・建国期の政治家・思想家として、アメリカ合衆国を誕生させた者たちの一人であるが、同時に「アメリカ人」を生んだ人物でもあることことに注目し、それがどのようなものなのかを考えました。</p>	<p><b>10月</b> 講義テーマは「GRAND SUMO」の起源としての『明暦の大火』。まずは相撲の歴史と「大相撲」の歴史を区別しましょう。江戸後期、最大の娯楽センターだった両国橋界隈の回向院で行われたのが今日の「大相撲」の起源です。両国橋と回向院は、いずれも江戸前期の明暦の大火後に誕生しました。災害の生々しい記憶から、いかにして娯楽の地へとリニューアールされていったのか、を問います。</p> <p><b>12月</b> 映像作品は、内容としては娯楽作品であっても、シリアスなテーマを扱っていることがあります。本講義では、『キングコング』や『ゴジラ』、『アナと雪の女王』などを「自然と文明」というテーマから分析し、これらの作品にどのようなメッセージが隠されているのかを考えてみました。</p>
<p><b>児童学科 こども心理学科 人間福祉学科</b></p>	<p><b>8月</b> 記憶の心理学について講義しました。古典的なエビングハウスの研究に触れ、無意味なものは急速に忘却されることを紹介しました。次いで実験研究を通して意味的関連づけが記憶の定着を促すものであることを解説しました。さらに学習時とテスト時の文脈効果に触れ、どのようにすればよりよく記憶できるかについて考えました。</p> <p><b>9月</b> 講義は重度の障害をもって生まれたMちゃんとお母さん、医師、看護師の物語を扱います。Mちゃんの身体的・精神的苦痛、母親の苦しみと不安に触れながら、医師や看護師の思いやりや優しさに励まされる親子の生き方を見ます。あるとき、お母さんは、「私は本当に幸福でした」と語りました。講義では苦難にある人を励まし生かすものを考えます。</p>	<p><b>10月</b> 日本においてなぜ近年、子ども虐待が「社会問題」となったのか。その社会意識の検討を行うとともに、子ども虐待への社会的注目が子育て全般に与えるインパクトについて、虐待相談件数、親権制限、家族類型、「しつけ」、「愛情」の落とし穴などに関する統計資料をもとに読み解いていきました。今後の支援策の視点についても考えました。</p> <p><b>12月</b> 講義のテーマは、「科学の花をさかせる学びとは」です。科学の学びは、仮説を立てて仮説が正しいのかどうかを様々なデータや論理を使って検証する行為です。この学びの手法は、自然の謎を解く鍵そのものです。そして、謎が解けた瞬間、科学の花が開くこととなります。他の分野でもこの検証方法を生かすことが出来ることを、事例を通して説明します。</p>
<p><b>全学部共通</b></p>	<p><b>1月</b> 現代社会に出現している健康問題のうち、環境と健康との関わりについて考えました。環境という言葉の意味合いとしては、自然環境が一般的であるが、ここでは私たちの毎日の生活を送る上での社会環境という視点も含めて、環境が健康にどのような影響を与えているのかを取り上げました。VDT作業(コンピュータを用いた作業)の増大による近視の増加、ドライアイ(角膜乾燥症)の増加、オゾン層の破壊による白内障の増大などの具体的視力障害の発生原因を検討していきました。</p>	

## 受験生へのアドバイス

講義中は、板書はもちろん、講義内容を詳細にメモすることが必要です。教員が強調したこと、繰り返したことはその講義のポイントなので、板書されていなくとも書き留めておき、清書の際に活かすとよいでしょう。スライドが用いられる場合にも、その文字を筆記するだけでなく、耳で聞いた解説内容をしっかり理解して書きとめることが求められています。質問は歓迎されますので、内容や用語が分からない時には進んで質問をして、理解を深めると良いでしょう。

清書の時間を利用して、この講義の中心的な問い、結論、そして結論に至るまでの重要なポイントは何かについて改めて考え、講義中にとったノートの内容につけ加えましょう。ポイントを捉えて、それを自分の言葉にして表現する努力が望まれます。下書きノートの審査の対象にはならないので、下書きに書かれていることを書き漏らさないように注意すること。また、誤字

のないように辞書で確認しておく必要があります。

面接にあたっては、まずリラックスし、心を開いて会話を楽しむような気持ちでのぞむことが大事です。面接では、受講内容を振り返り、その流れを自分の言葉で説明したり、感想や意見を求められたりするので、その心づもりをしておいてください。

## 対策

普段の授業でも、先生の話す事柄を注意深く聴き、大事だと思ったことを自覚的に書き記す習慣をつけておきましょう。また、新聞、テレビやホームページで流れる、ニュースや解説番組などに、耳と目を向け、その内容を知識として心に留めるとよいでしょう。

高校までの成績、活動と志望理由、将来の目標に基づく

# 推薦入試

Point. 1 公募推薦の小論文では自己の意見を的確に表現する力を審査します。

Point. 2 志望理由書による面接では、大学進学のための目的や将来の目標を確認します。

Point. 3 「クリスチャン推薦」「キリスト教関係者推薦」を行っています。

## 選考のポイント

本学の推薦入試は「指定校推薦」及び「クリスチャン推薦・キリスト教関係者推薦」と「公募推薦」を行います。「指定校推薦」及び「クリスチャン推薦」では小論文審査は行わず、書類審査と面接を行います。面接において志望の動機や入学後の目標などを確認することに力を入れます。本学面接担当教員は、志望理由書を事前にチェックし面接時に必ず志望理由や将来目標を質問しますので、志望理由書には将来目標がわかりやすく記載されていることが大切となります。また、高等学校における活動の記録として、クラブ活動や委員会活動などがありましたら記入してください。推薦入試は高校でどのように充実した学校生活を送ったかが選考の重要なポイントになります。

オープンキャンパスに参加して、聖学院大学の教育の内容を理解するとともに、志望する学科の教員と個別に話ができる「個別相談」を活用するとアドバイスを受けることができます。積極的に参加されることをお勧めします。

「公募推薦」の小論文につきましては、提示された文章を読んで、それについて論文を書く形式や、テーマが与えられて、それについて自分の意見を述べる形式になります。書かれた内容を中心に審査しますが、小論文としての様式を整えておくことも必要になります。日ごろから文章に親しみ、文章を書く

練習をしておくことをお勧めします。広く社会に関心を持っているかを問われますので新聞やテレビニュースなどで視野を広げておくことも大切なポイントです。

論文作成にあたっては、時間配分を考慮に入れた練習をしていると試験当日は安心できると思われれます。論文内容については、受験生の意見がしっかりと述べられているかを評価の基準とします(過去問題集「推薦入試対策 小論文のポイント」を参考にしてください)。

本学ではオープンキャンパスとは別にサマースクール(8・9月)を実施します。一日、大学生になって講義を体験するもので、小論文の書き方講座など実習を交えて開かれます。小論文に自信のない、あるいはエントリーカード・志望理由書の書き方がわからない受験生はご活用ください。

面接では、志望理由書を元に志望の動機や将来の目標について確認しますが、緊張して質問と違う答えが返ってくる場合があります。出願時に提出する志望理由書は、自分自身で考えた内容をしっかりと書くことが大切です。また、本学ではアドミッション・ポリシー(P.7)を提示していますので、それをよく読み、理解していることが重要です。

## 2015年度推薦入試概要

※2016年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

### 募集定員

<b>■政治経済学部</b> ・政治経済学科	55名	<b>■人文学部</b> ・欧米文化学科 ・日本文化学科	25名 25名	<b>■人間福祉学部</b> ・児童学科 ・こども心理学科	30名 25名	・人間福祉学科	25名
---------------------------	-----	------------------------------------	------------	-------------------------------------	------------	---------	-----

### 入試日程等(参考)

入試区分	公募推薦Ⅰ期	クリスチャン推薦	キリスト教関係者推薦	公募推薦Ⅱ期
対象学部・学科	政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、児童学科、こども心理学科、人間福祉学科			
受験資格	2015年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込の者			
推薦基準	全体の評定平均値が3.0以上で、かつ全教科のうちいずれか1教科の評定平均値が3.5以上	①所属する教会の牧師と役員会が推薦するクリスチャンであること。 ②キリスト教学校の場合は聖書科教師あるいはチャプレンの推薦があること。 ③入学後、大学のキリスト教関連クラブで活動する意志のあること。 ④大学の学習に耐え得る十分な基礎学力があること。	①キリスト教に関心があること。 ②教会に連なっているクリスチャンの関係者の推薦があること。 ③入学後、大学のキリスト教関連クラブで活動する意志のあること。 ④全体の評定平均値が3.0以上で、かつ全教科のうちいずれか1教科の評定平均値が3.5以上であること。	全体の評定平均値が3.0以上で、かつ全教科のうちいずれか1教科の評定平均値が3.5以上
審査日	2014年11月8日(土)			2014年12月20日(土)
審査方法	①書類審査(調査書・学校長の推薦書(指定用紙)・志望理由書=800字) ②小論文(60分・800字) ③面接	①書類審査(調査書・課題・志望理由書=800字) ②課題に基づく面接	①書類審査(調査書・課題・志望理由書=800字) ②課題に基づく面接	①書類審査(調査書・学校長の推薦書(指定用紙)・志望理由書=800字) ②小論文(60分・800字) ③面接

※「指定校推薦」については、指定校に別途ご案内しています。詳細は、アドミッションセンターへお問い合わせください。

## 2015年度公募推薦入試 出題のねらいとアドバイス

		出題のねらい・アドバイス
政治経済学科	I期 「鳥獣害と戦う」というテーマで書かれた新聞記事を用いて、野生動物と人間の共存について考えさせるのがねらいです。また、女性の視点や女性の活躍といった視点からも論が展開できるように、問題文では幅を見せています。その分、多岐にわたる視点が可能であるので、どちらを選んでも、自分自身の価値観の中で、どのように判断し、論を展開するかを見ます。生き物の生命に係わる問題ですので、感情的にならず、冷静に論理が展開できるかがポイントです。 野生動物と人間の共存の問題には明確な解答はありません。考えさせ、自分の意見をはっきりと述べさせるのがねらいなので、まずは自分の立場を明確にし、そこから論を展開させることが大事です。特に、生命にかかわる問題は、たんに「かわいそう」といった感情的な立場ではなく、鳥獣害が起きる原因にまでさかのぼって、人間の営みに対する眼差しが必要です。しかし、それでも感情的な側面は残るはずですので、単なる利害関係や、どちらか一つの立場からだけではない、多角的な視点で論じられると、もっと良いと思います。	
欧米文化学科		
日本文化学科		
こども心理学科		
人間福祉学科	II期 我が国の食糧援助や食料自給率・廃棄率などを引用して「食品ロス」の減少を訴える内容であることが理解できているか、さらに「食品ロス」の定義とその発生要因、「食品ロス」減少への対策に関するヒントが読み取れているかといった観点から、文章を読み解く力をはかっています。また、記事の内容を踏まえて、「食品ロス」減少に対する説得力のある論を展開できるか、語られているテーマを「自分ができること」という適切な具体例として示すことができるかといった点から論理的思考力や応用力、表現力を考查します。	
児童学科	I期 子どもがうそをついたことを考察した文章を課題文にとりあげました。「うそをつくことは悪い」と子どもに教えることは、確かに正しい指導であると言えます。けれども、実際には、子どもの思いに添い立って、ふさわしい指導かどうかをよく考えることが、子どものかかわりでは大切にされています。「子どもはいいことも悪いことも経験しながら育っていきます」と述べている筆者が学び得たことの内容を読みとって理解し、いわゆる指導とは異なる、子どもに「大切な指導」について論述することを求めました。 一問一答式試験と小論文試験との違いを考えてみましょう。課題文の筆者と解答者とのあいだで共有される課題が何であるかを確認してその内容を記述することが求められます。実は、出題者もその課題を共有しています。そこで、出題者の問いかけに着目して考えをまとめてみましょう。また、課題文で子どものかかわりが述べられているときには、「もし、わたしがその(課題文にあるような)状況にあったらどうだろう」と自分に問いかけてみましょう。そうして考えたことを、文章にまとめてみてはいかがでしょうか。 II期 「子ども」について書かれた詩を題材としました。ここでは、作者が「子ども」をどのように捉えているかを読み取り、自分の言葉で説明する力を見るのが一つ目のねらいです。次に、作者の「子ども」というものの捉え方について、受験生自身はどのように考えるか意見をまとめることが二つ目のねらいです。 大人は、ややもすると固定観念で子どもを見てしまうことがあります。全てのとらわれを捨てて子どもを見ると本当の姿が見え、本当の声が聞こえてくるということに気付いたか、子どもを支えていくことができるか、そのことが他者に伝わるように丁寧に正しい文字で表記されているか、などの点から判断いたします。	

## 推薦入試2015年度結果 (公募推薦・審査日 ①2014年11月8日 ②12月20日)

※公募・指定校推薦・クリスチャン・キリスト教関係者推薦を含みます

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	55	22	22	22	6	1.0	22	6
人文	欧米文化	25	12	12	12	5	1.0	12	5
	日本文化	25	23	23	23	8	1.0	23	8
人間福祉	児童	30	38	38	36	22	1.1	36	22
	こども心理	25	12	12	12	7	1.0	12	7
	人間福祉	25	28	28	28	13	1.0	28	13
合計		185	135	135	133	61	1.0	133	61

自分自身の特技や活動を将来にどのようにつなげるかを審査します

# 自己推薦・スポーツ推薦入試

部活動、生徒会・委員会活動など学校生活の中での経験や、地域の諸活動(祭り、子ども会、ボランティアなど)に参加した経験がある人、自分の考えや意見を人前で話すことができる人、個性的な考えを持っている人、そして何より将来の目標に向かって努力する強い意思を持っている人が評価されます。

Point. 1 あなたの個性豊かな「表現力」を発揮できる入試です。

Point. 2 表現する内容は「自分の考え」「志望理由」「将来の希望」です。

Point. 3 出願には、成績基準を求めません。既卒者の出願もできます。

## 選考のポイント

自己推薦入試・スポーツ推薦入試は、特技や活動のアピールを通して示された受験生の可能性を見出すことを目的に作られたユニークな入試です。

本学の公募推薦も指定校推薦も学校長の推薦を得た高校生を対象にしているため、既卒の方や高校卒業認定試験の方などは受験できませんが、自己推薦入試は既卒の方、高校卒業認定試験の方や社会人の方などにも受験の機会を広げた入試です。他大学との併願も可能です。自己推薦として「志望理由書」を提出していただきます。

選考においては、志望理由書とそれに基づく面接で、将来の目標や意欲を審査します。小論文が課されますので、文章を読むこと、書くことに親しんでおくことが大切です。本学ではオープンキャンパスやサマースクールで小論文の書き方を指導していますので、ぜひ活用してください。また、それらのイベントで配布する『志望理由書の書き方』『小論文のポイント』も参考にしてください。

今、現在何かが良くてできる、あるいは実績があるということも大切ですが、むしろそのことを将来の目標達成のためにどのように活かすか、またこれからどのような努力を行ってその能力を伸ばしていくかを審査していきます。

スポーツ推薦入試は、本学の入学を強く希望し、高校生活で鍛えられた心身両面で優れた能力を持った人を教員などの証明により自己表現できる人材として優先的に入学を許可するものです。また、本入試は学校長の推薦が必要な公募推薦や指定校推薦とは異なり、クラブの顧問や監督、担任等が記入したスポーツ推薦書(指定用紙)を提出します。また、一定のスポーツの実績が必要となりますので、よくスポーツ推薦入試要項をお読みください。3期(9、12、1月)に分けて審査を行います。自己推薦入試と同様に他の大学との併願が可能です。

## 2015年度自己推薦入試概要

※2016年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

### 募集定員(スポーツ推薦含)

■政治経済学部		■人文学部		■人間福祉学部	
・政治経済学科	5名	・欧米文化学科	5名	・児童学科	募集なし
		・日本文化学科	5名	・こども心理学科	5名
				・人間福祉学科	5名

### 入試日程等(参考)

入試区分	自己推薦
対象学部・学科	政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科、人間福祉学科
出願資格	2015年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込の者、既卒・大学検定試験・高校卒業認定試験・社会人・年齢問わずどなたでも受験可能。
出願基準	①大学における学習・研究や将来の生き方に課題を持ち、強い意欲と各学科に適した資質を有する者。 ②芸術文化・スポーツ・ボランティア活動等に明確な課題を持ち、強い意欲を有する者。 ③実社会や海外生活などの経験を、学習・研究等に生かすなど課題を持ち、強い意欲を有する者。
審査日	2015年1月17日(土)
審査方法	①書類審査(調査書・志望理由書=800字) ②小論文(60分・600字) ③面接

※併願可能。詳しくはお問い合わせください。



## 2015年度自己推薦入試 出題のねらいとアドバイス

	出題のねらい	アドバイス
政治経済学科	私たちの生活する社会には、ニュースなどからもわかるように、外国のことであれ、国内のことであれ、内外問わず、多くの難問が日々積み重ねられています。私たちは、時としてそのようなテーマを考えたり、またそれについて意見を求められることはありますが、自分たちの属する国や社会に自分から働きかけたり、また住んでいる街で自分たちに出来ることがあることを、忘れてしまいがちです。そのような自分たちの出来ることについて目を向けてほしいと思い、本問を出題しました。	大学での学びでは、正解にたどり着くことだけではなく、いまだ正解が得られない問題について、進むべき方向を推論していく実力を養成することも大きな目的です。本問冒頭にある「ホールフーズ・マーケット」について、知る受験生はまずいないでしょう。問題文中にも、「先週書いた」と記されているだけで、それが「事件」につながっているという筆者独自の論述が展開されています。ですから、解答は、単なる感想では不十分です。筆者の論述から何をどう受け取り、それを自分の議論にどう繋げたか、推論の正確さが、評価のポイントとなります。
欧米文化学科		
日本文化学科		
こども心理学科		
人間福祉学科		

## 自己推薦入試 2015年度入試結果 (審査日 2015年1月17日)

学部	学科	募集定員	入試結果			合格者内訳			倍率 受験者/合格	入学者	
			志願者	受験者	合格者	現役	既卒者	女子		総数	女子
政治経済	政治経済	5	2	2	2	2	0	1	1.0	2	1
人文	欧米文化	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
	日本文化	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
人間福祉	児童	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	こども心理	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
	人間福祉	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
合計		25	2	2	2	2	0	1	1.0	2	1

※募集定員は、スポーツ推薦入試を含みます。

※児童学科は(自己推薦)の募集はなし。

## 2015年度スポーツ推薦入試概要 ※2016年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

### 入試日程等(参考)

入試区分	スポーツ推薦
対象学部・学科	政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科、人間福祉学科
受験資格	2015年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込の者
推薦基準	①スポーツ推薦書のある者(推薦書記入者・顧問、監督、担任、その他) ②証明条件 A・Bいずれかの該当で出願可 A ●個人競技では高校時に都道府県大会において8位以上の者。 ●団体競技では高校時に都道府県大会においてベスト16以上の者。 B ●高校3年間部活動を継続し礼儀正しく、人間性が評価できる者。スポーツ関連クラブも含む。
審査日	I期 2014年9月20日(土) II期 12月20日(土) III期 2015年1月17日(土)
審査方法	①書類審査(スポーツ推薦書(指定用紙)・志望理由書=600字程度・他※) ②小論文(60分・600字) ③面接

※【任意提出書類】活動実績が高校外部の場合には、クラブチーム等の課外活動実績報告書(A4書式自由)

※併願可能。詳しくはお問い合わせください。

## スポーツ推薦入試 2015年度入試結果 (審査日 ①2014年9月20日 ②12月20日 ③2015年1月17日)

学部	学科	募集定員	入試結果			合格者内訳			倍率 受験者/合格	入学者	
			志願者	受験者	合格者	現役	既卒者	女子		総数	女子
政治経済	政治経済	5	4	4	4	4	0	1	1.0	4	1
人文	欧米文化	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
	日本文化	5	2	2	2	2	0	1	1.0	2	1
人間福祉	児童	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	こども心理	5	1	1	1	1	0	0	1.0	1	0
	人間福祉	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
合計		25	7	7	7	7	0	2	1.0	7	2

※募集定員は、自己推薦入試を含みます。

※児童学科は(スポーツ推薦)の募集はなし。

# 聖学院大学入試について

**聖学院大学の入試は「ふるい落とし」をするのではなく、将来の夢をもち、意欲的に大学生活に取り組むことのできる学生を「見出す」ことを目指して作られています。**

聖学院大学は「ふるい落とすための入試」から、「受験生の可能性を見出す入試」への大きな改革を行ってきました。そのために「どのような学生に入学してほしいか」を提示した『聖学院大学アドミッション・ポリシー』を提示しています。

本学では「面倒見のよい大学。入って伸びる大学。」を本学の教育姿勢をわかりやすく示すことばとして使っています。

本学では学生が目的をもって、意欲的に学問に取り組むには何よりも教員と学生の豊かなコミュニケーションが大切であると考え、徹底した少人数教育に取り組んでいます。多くの教職員が学生の顔と名前を一致させて覚えているということがマンモス大学にはないフレンドリーなキャンパスの雰囲気を作り出しています。これが本学の「面倒見のよさ」の基本です。さらに入学前準備学習やニュー・スチューデント・オリエンテーション、クラスアドバイザー制や現代社会の諸問題を取り上げ学んでいくアセンブリーアワー、使える英語を目指す英語教育、大学生としての表現力を身につける「話し方・書き方表現」、ITのスキルを徹底して学ぶコンピュータ教育など、独自のカリキュラムが実績をあげてきました。また「アドミッションセンター」、「キャリアサポートセンター」、「ラーニングセンター」、「ボランティア活動支援センター」、「学

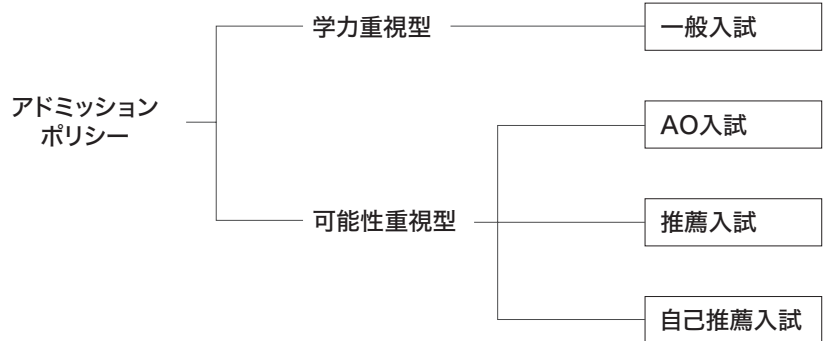
生相談室」など学生がいつでも相談できる仕組みを作っているのも「面倒見のよい大学」、そして「入って伸びる大学」という評価の裏付けとなっています。

入試制度においても能力の「ふるい落とし」をするのではなく、将来の夢に向かって意欲的に取り組むことのできる学生を「見出す」ことを目指して4つの入試が作られています。「アドミッション・ポリシー」をはっきりと掲げているのもその姿勢のあらわれです。また各入試で毎日の出願状況の公開、合格最低点、平均点、正答率の公開など受験生に役立つ入試情報の公開をホームページや高校へのFAX情報を通じて積極的に行っています。

インターネット上にシラバスを公開するとともに、受験生向けに発行しているこの『データブック』では、何が学べるかがわかるようにしています。さらに「学科学習目標」（卒業時点を想定して学生が到達すべき目標を示したもので「ディプロマ・ポリシー」とも呼ばれます。）も提示しています。

今年度もいくつかの入試の改革を行いました。その一つひとつが、受験生から見てメリットになるようにという方針を貫いています。ぜひ本学のアドミッション・ポリシーを理解したうえで、本学の教育の中であなたの夢を実現してください。私たちは、あなたの夢と目標が実現できるように全力でバックアップします。

## 入試の4つの方式



**以下の大会で、聖学院大学陸上部は好成績を収めました。**

### 第94回関東インカレ

(2015年5月14日、15日、16日、17日、横浜日産スタジアム)

西橋 充樹(政治経済学科3年) 男子2部やり投げ 4位入賞  
 照井 はるか(コミュニティ政策学科3年) 女子1部走高跳び 6位入賞

※男子2部総合 29位 女子1部総合 32位

### 2015日本学生個人陸上競技選手権大会

(6月12日13日14日、shonan BMWスタジアム平塚)

荷田 翔子(人間福祉学科4年) 女子400mハードル 7位入賞  
 照井 はるか(コミュニティ政策学科3年) 女子走高跳び 6位入賞

大学で必要となる基礎学力を筆記試験により判断する

# 一般入試

Point. 1 適切な出題で基礎学力を審査します。

Point. 2 一回の入試で2学科に出願できる2学科出願制度があります。

## 選考のポイント

聖学院大学では、難問や奇問をなくし、基礎的な学力があれば点数が取れる「良問化」に常に努めています。毎年、外部の専門機関による入試問題の評価を実施し、適正な範囲から出題されているか、難易度は受験生に合っているかなどの観点から厳しいチェックを受けています。その結果は学内にフィードバックし、次年度の問題作成に活かしています。

このデータブックで問題を公開し、学科ごとに実質倍率、合格最高点・最低点、平均点、各問ごとの正答率を公表しています。また、学内の入試問題作成委員会が「傾向と対策」を執筆しています(過去問題集に掲載)。

このように、本学では情報の公開を積極的に進めていますので、データブックや入試要項をしっかりとチェックしておくことが、高得点のカギとなります。

また、最新の情報は大学ホームページ(<http://www.seigakuin.jp>)でも公開しています。入試の変更点などの情報が出ることがありますので合わせてチェックしてみることをお勧めします。

出題範囲は文部科学省の課程に準拠します。範囲を超えた問題は出題しない方針です。各科目とも入試要項に指定された範囲を確認し、基礎をしっかりとしてください。

大学の2016年度一般入試はA日程、B日程、C日程、D日程、E日程の5期にわけて行います。今年度は、下記に記した昨年度実績と比較し、日程や会場の変更、受験できる科目数に変更がありますので、別冊入試要項をご確認ください。特にABCD日程では、一回の入試で2学科に出願できる2学科出願制度があります。BC日程では、2科目・3科目入試があります。3科目入試は点数の高い2科目で判定します。なお、国語総合の出題範囲は近代以降の文章としています。

一般入試E日程は、小論文と面接による審査を行います。どうしても年度中に大学に入学したい受験生のための最後のチャンスとして3月に実施します。

## 2015年度一般入試概要

※2016年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

### 募集定員

入試区分	政治経済学部	人文学部		人間福祉学部		
	政治経済	欧米文化	日本文化	児童	こども心理	人間福祉
A日程	50	20	20	30	20	20
B日程						
C日程						
D日程						
E日程						

### 入試日程(参考)

入試区分	試験日
A日程	2015年2月 3日(火)
B日程	2015年2月13日(金)
C日程	2015年3月 2日(月)
D日程	2015年3月11日(水)
E日程	2015年3月20日(金)



## 2015年度一般入試概要(続き)

※2016年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

### 試験科目(参考)

入試区分	試験科目	試験時間	試験会場
一般入試 A日程	「2科目入試」または「3科目入試」を選択できます。 英語I・II+選択科目 (選択科目:国語総合(近代以降の文章)、 世界史B、日本史B、政治・経済、数学I・数学A) ※2科目受験は英語を含む2科目受験 ※3科目受験の評価は上位2科目の合計点	各60分 100点 国語総合 9:30~10:30 英語I・II 11:00~12:00 国語以外の選択科目 13:00~14:00	本学、仙台、宇都宮、新潟、 高崎、東京
一般入試 B日程	「2科目入試」または「3科目入試」を選択できます。 英語I・II+選択科目 (選択科目:国語総合(近代以降の文章)、 世界史B、日本史B、政治・経済、数学I・数学A) ※2科目受験は英語を含む2科目受験 ※3科目受験の評価は上位2科目の合計点	各60分 100点 国語総合 9:30~10:30 英語I・II 11:00~12:00 国語以外の選択科目 13:00~14:00	本学、東京
一般入試 C日程	国語総合(近代以降の文章) 英語I・II	各60分 100点	本学、宇都宮、高崎、東京
一般入試 D日程	小論文 面接	60分	本学
一般入試 E日程	小論文 面接	60分	本学

### 2学科出願について

一般入試A～C日程は、1回の試験で2学科出願できます。

(2016年度入試はA～D日程)

地方試験会場でも2学科出願ができます。

入学検定料は1学科でも2学科併願でも

同額出願料金(30,000円)。

※詳細は必ず、別冊入試要項でご確認ください。

### 「シーズン・パス方式」と 「センター試験出願者の受験料の減額」について

複数回受験できる「シーズン・パス方式」を採用しています。

※入学検定料30,000円で年度内のすべての入試を何回でも受験することが出来ます。  
途中で受験学科を変更することも可能です。

大学入試センター出願者は本学の一般入試の入学検定料を20,000円に減額致します(こちらも複数回受験パスとなります)。

※センター利用入試ではありません。

## 2014年度秋学期入試

### <小論文・面接型>

#### 一般・帰国生入試・編入学試験対象

政治経済学科、コミュニティ政策学科(編入学のみ)、  
欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科

試験日 2014年7月5日(土)

審査方法 小論文、面接

### <AO方式[レポート]型>

#### 一般・社会人・帰国生・留学生入試・編入学試験対象

政治経済学科、コミュニティ政策学科(編入学のみ)、  
欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科

エントリー受付 2014年4月1日(火)～7月30日(水)

審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

### 2014年度 秋学期入試結果(一般・AO)

学部	学科	志願者	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	1	0	1	0	1	0
人文	欧米文化	1	0	1	0	0	0
	日本文化	0	0	0	0	0	0
人間福祉	児童	-	-	-	-	-	-
	こども心理	1	1	1	1	1	1
	人間福祉	-	-	-	-	-	-
合計		3	1	3	1	2	1

※秋学科入試(社会人、帰国生、留学生、編入学)についてはP25～27参照。

# 2015年度一般入試結果

## 入試科目別平均点

### A日程

学部	学科	科目	英語	国語	政治・経済	世界史	日本史	数学
			満点 100	100	100	100	100	100
政治経済	政治経済	受験者数	42	39	4	2	14	9
		平均点	47.9	62.1	62.6	50.9	46.2	58.0
人文	欧米文化	受験者数	15	13	1	1	4	4
		平均点	57.5	59.2	62.6	50.9	46.2	58.0
	日本文化	受験者数	25	25	2	2	12	1
		平均点	47.4	62.8	62.6	50.9	46.2	58.0
人間福祉	児童	受験者数	41	38	3	3	13	12
		平均点	58.4	63.4	62.6	50.9	46.2	58.0
	こども心理	受験者数	25	24	5	0	3	7
		平均点	50.4	62.3	62.6	50.9	46.2	58.0
	人間福祉	受験者数	10	10	1	1	4	1
		平均点	47.9	62.8	62.6	50.9	46.2	58.0

※政治・経済、世界史、日本史、数学は、科目選択者が少ない学科があるため、全学科平均になっています。

### B日程

学部	学科	科目	英語	国語	政治・経済	世界史	日本史	数学
			満点 100	100	100	100	100	100
政治経済	政治経済	受験者数	12	11	1	3	3	4
		平均点	53.2	77.3	65.2	48.9	52.2	80.7
人文	欧米文化	受験者数	7	5	1	2	1	1
		平均点	55.6	74.6	65.2	48.9	52.2	80.7
	日本文化	受験者数	14	14	1	1	7	1
		平均点	49.4	70.8	65.2	48.9	52.2	80.7
人間福祉	児童	受験者数	18	18	1	2	7	4
		平均点	61.3	70.6	65.2	48.9	52.2	80.7
	こども心理	受験者数	5	5	1	1	2	0
		平均点	51.4	75.0	65.2	48.9	52.2	-
	人間福祉	受験者数	6	5	0	0	2	3
		平均点	50.3	70.0	-	-	52.2	80.7

※政治・経済、世界史、日本史、数学は、科目選択者が少ない学科があるため、全学科平均になっています。

## 会場別志願者合格者数

※志:志願者数 合:合格者数

### A日程

学部	学科	大学		東京		仙台		宇都宮		新潟		高崎	
		志	合	志	合	志	合	志	合	志	合	志	合
政治経済	政治経済	29	28	5	5	1	1	0	0	1	1	6	6
		10	9	3	2	0	0	0	0	1	1	2	2
人文	欧米文化	15	15	4	4	0	0	0	0	3	3	3	3
	日本文化	30	22	6	5	2	1	1	1	2	2	2	2
人間福祉	児童	16	16	5	5	0	0	0	0	2	2	2	2
	こども心理	7	7	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2
	人間福祉	107	97	23	21	3	2	1	1	10	9	17	17

### B日程

学部	学科	大学		東京	
		志	合	志	合
政治経済	政治経済	18	11	0	0
		10	5	1	1
人文	欧米文化	20	14	1	0
	日本文化	20	14	3	2
人間福祉	児童	5	4	1	1
	こども心理	6	5	1	1
	人間福祉	79	53	7	5

### C日程

学部	学科	大学		東京		宇都宮		高崎	
		志	合	志	合	志	合	志	合
政治経済	政治経済	14	9	5	5	0	0	1	1
		9	7	1	1	2	1	1	1
人文	欧米文化	6	4	5	4	0	0	0	0
	日本文化	8	4	4	3	0	0	0	0
人間福祉	児童	3	3	4	3	0	0	0	0
	こども心理	5	4	2	2	0	0	0	0
	人間福祉	45	31	21	18	2	1	2	2

### C日程

学部	学科	科目	英語	国語
			満点 100	100
政治経済	政治経済	受験者数	18	18
		平均点	50.7	68.6
人文	欧米文化	受験者数	11	11
		平均点	53.7	64.2
	日本文化	受験者数	8	8
		平均点	44.0	72.3
人間福祉	児童	受験者数	11	11
		平均点	47.2	65.5
	こども心理	受験者数	6	6
		平均点	49.8	68.8
	人間福祉	受験者数	6	6
		平均点	43.7	73.0

## 学科別併願状況

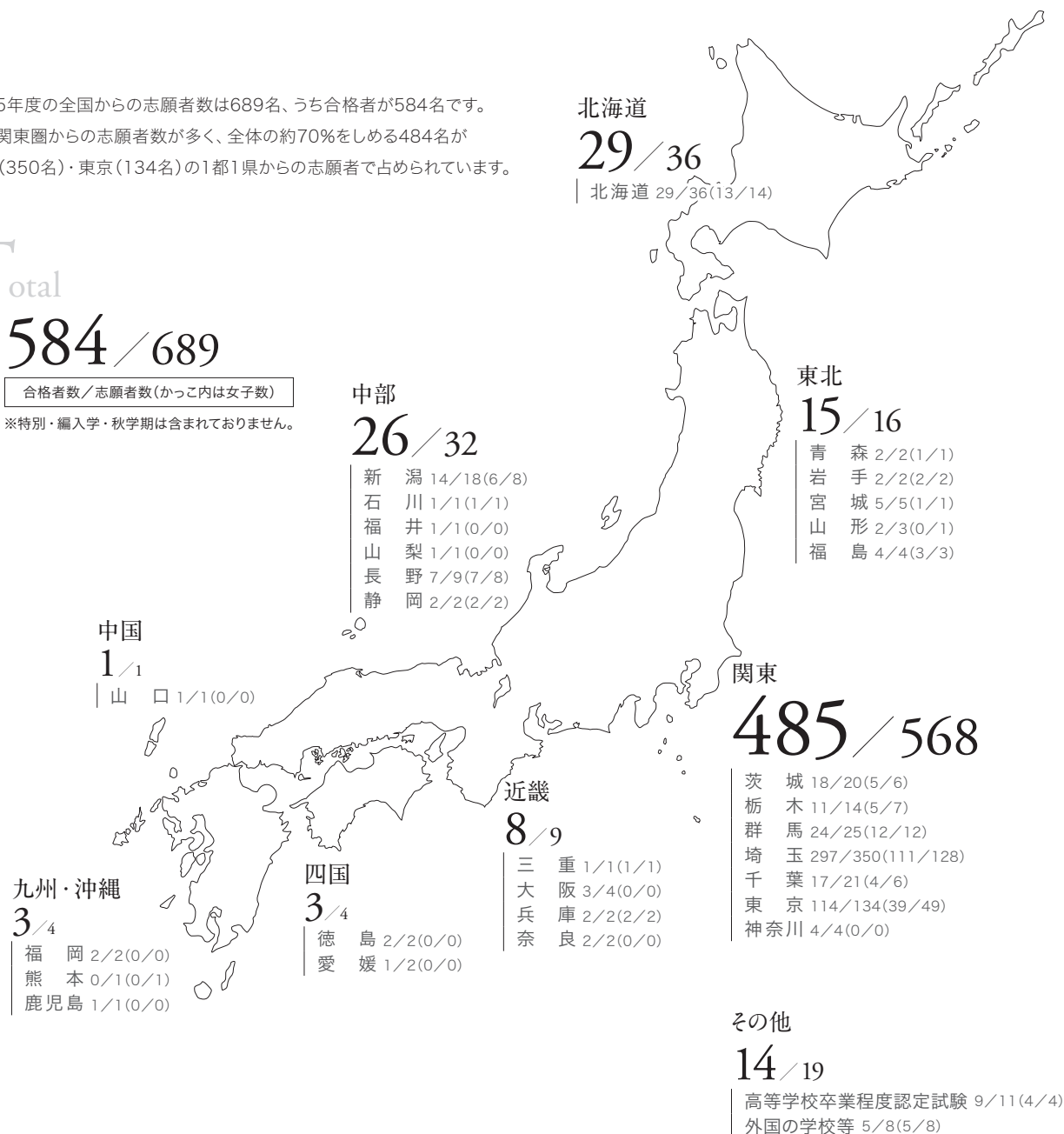
学部	受験学科1	受験学科2	A日程	B日程	C日程	
政治経済	政治経済	なし(単願)	24	7	4	
	政治経済	欧米文化	5	4	4	
	政治経済	日本文化	4	2	2	
	政治経済	児童	1	1	1	
	政治経済	こども心理	1	0	0	
	政治経済	人間福祉	0	2	3	
	人文	欧米文化	なし(単願)	6	2	3
		欧米文化	政治経済	1	0	2
		欧米文化	日本文化	1	2	1
		欧米文化	児童	0	0	0
欧米文化		こども心理	0	0	0	
欧米文化		人間福祉	1	1	0	
日本文化		なし(単願)	11	9	2	
日本文化		政治経済	5	2	2	
日本文化		欧米文化	1	1	1	
日本文化		児童	0	1	0	
人間福祉	日本文化	こども心理	1	1	1	
	日本文化	人間福祉	1	0	0	
	児童	なし(単願)	26	13	4	
	児童	政治経済	1	0	2	
	児童	欧米文化	0	1	1	
	児童	日本文化	0	2	0	
	児童	こども心理	12	4	4	
	児童	人間福祉	0	0	0	
	こども心理	なし(単願)	5	1	1	
	こども心理	政治経済	0	0	0	
こども心理	欧米文化	1	0	0		
こども心理	日本文化	1	0	1		
こども心理	児童	2	0	0		
こども心理	人間福祉	0	0	0		
人間福祉	なし(単願)	5	2	2		
人間福祉	政治経済	0	0	0		
人間福祉	欧米文化	0	0	1		
人間福祉	日本文化	0	1	1		
人間福祉	児童	1	1	0		
人間福祉	こども心理	2	0	0		

# 都道府県別入試データ

2015年度の全国からの志願者数は689名、うち合格者が584名です。  
主に関東圏からの志願者数が多く、全体の約70%をしめる484名が  
埼玉(350名)・東京(134名)の1都1県からの志願者で占められています。

Total  
**584 / 689**

合格者数 / 志願者数 (かっこ内は女子数)  
※特別・編入学・秋学期は含まれておりません。



## 現役 / 既卒別志願者数

学部	学科	総数	現役	既卒等
政治経済	政治経済	162	131	31
人文	欧米文化	74	62	12
	日本文化	109	93	16
人間福祉	児童	184	170	14
	こども心理	78	69	9
	人間福祉	82	73	9

※特別・編入学・秋学期は含まれておりません。

# 高校別入試データ

※高校コード順に掲載

都道府県	高校名	志願	合格	入学
北海道	北星学園余市	1	1	1
	クラーク記念国際	30	23	21
	星槎国際	5	5	5
青森県	青森東	1	1	1
	青森山田	1	1	1
岩手県	北上翔南	1	1	1
	水沢	1	1	1
宮城県	美田園	1	1	1
	東北学院	2	2	2
	宮城学院	1	1	1
	西山学院	1	1	1
山形県	鶴岡北	1	0	0
	日本大学山形	1	1	1
	鶴岡東	1	1	1
福島県	本宮	1	1	1
	富岡	1	1	0
	郡山女子大学附属	1	1	1
	石川(私立)	1	1	1
茨城県	太田第一	2	2	1
	古河第一	1	1	1
	古河第二	2	2	2
	境	1	1	0
	総和	1	1	1
	土浦湖北	1	1	1
	取手松陽	1	1	1
	波崎柳川	1	1	1
	鹿島学園	3	3	2
	つくば開成	3	2	2
	第一学院(高萩校)	2	2	2
	東豊学園つくば松実	2	1	1
栃木県	馬頭	1	0	0
	大田原女子	1	1	0
	小山西	1	1	1
	白鷗大学足利	1	1	1
	那須高原海城	2	2	0
	日々輝学園	6	5	5
	佐野日本大学	2	1	0
群馬県	前橋清陵	1	1	0
	館林	1	1	0
	渋川	6	6	0
	富岡	1	1	0
	西邑楽	2	2	0
	高崎東	2	2	1
	高崎経済大学附属	1	0	0
	藤岡中央	1	1	1
	共愛学園	1	1	1
	桐生第一	2	2	0
	新島学園	2	2	2
	樹徳	3	3	0
	高崎健康福祉大学高崎	2	2	2
埼玉県	松山	1	1	1
	浦和第一女子	2	2	0
	熊谷女子	2	1	0
	春日部女子	6	3	1
	鴻巣女子	1	1	1
	浦和西	1	1	1
	本庄	1	1	1
	児玉	1	1	1
	飯能	3	2	2
	久喜	3	3	3
	小川	1	0	0

都道府県	高校名	志願	合格	入学
埼玉県	草加	5	4	3
	戸田翔陽	3	3	3
	岩槻	1	1	1
	久喜工業	2	1	1
	深谷商業	1	1	1
	進修館	4	3	3
	岩槻商業	1	1	1
	浦和商业	1	1	1
	熊谷商業	1	1	1
	与野	2	2	2
	鴻巣	7	6	6
	桶川	6	5	2
	八潮	1	1	1
	志木	6	5	4
	越谷南	3	3	0
	所沢北	1	1	0
	深谷	5	2	2
	北本	1	1	1
	大宮中央	3	3	2
	羽生	2	2	2
	大宮武蔵野	4	4	3
	草加南	1	0	0
	滑川総合	2	2	2
	羽生第一	11	8	1
	上尾南	10	10	8
	春日部東	3	2	0
	白岡	3	3	3
	杉戸	4	4	1
	川口総合	2	2	2
	川越(市立)	1	1	1
	川口(市立)	2	2	0
	大宮北	3	1	0
	大宮西	2	1	0
	県陽	3	2	2
	川口東	2	2	0
	鷲宮	1	1	1
	朝霞西	2	2	2
	川越西	2	2	2
	越谷西	9	8	6
	坂戸西	3	2	2
	妻沼	3	3	3
	大宮東	2	2	2
	南稜	3	3	1
	桶川西	3	3	3
	所沢中央	2	2	2
	三郷北	8	8	5
	庄和	1	1	1
	松伏	1	1	1
	大宮南	6	6	2
	越谷東	2	2	2
	浦和東	2	1	1
	上尾橘	5	4	3
	川越初雁	2	2	2
	入間向陽	1	0	0
	草加西	3	3	3
	川口青陵	2	2	2
	伊奈学園総合	8	5	3
	大宮光陵	4	4	2
	久喜北陽	1	1	1
	鳩ヶ谷	1	1	1
	上尾鷹の台	1	1	0

都道府県	高校名	志願	合格	入学
埼玉県	誠和福祉	2	2	2
	狭山緑陽	1	1	1
	吹上秋桜	5	5	5
	蓮田松韻	8	5	4
	栗橋北彩	1	1	1
	ふじみ野	1	1	1
	吉川美南	1	1	1
	塙保己一学園	1	1	1
	越谷特別支援	1	1	1
	聖望学園	4	3	2
	小松原	4	4	4
	本庄第一	2	2	2
	山村学園	7	6	2
	山村国際	1	0	0
	正智深谷	4	3	3
	大宮開成	2	2	1
	本庄東	3	3	0
	武蔵越生	3	3	3
	東京成徳大学深谷	2	2	2
	浦和実業学園	15	8	4
	星野	1	1	1
	大妻嵐山	2	2	0
	浦和ルーテル学院	2	2	1
	城西大学付属川越	3	2	1
	埼玉栄	5	5	3
	浦和学院	2	2	1
	昌平	8	7	2
	城北埼玉	1	1	0
	西武台	2	2	2
	秀明英光	11	10	10
	花咲徳栄	9	8	3
	秋草学園	4	4	2
	埼玉平成	2	0	0
	東京農業大学第三	2	2	0
	自由の森学園	5	5	5
	国際学院	7	7	7
	栄北	4	3	1
	松栄学園	1	1	0
	武蔵野星城	2	2	2
千葉県	銚子(県立)	1	1	0
	九十九里	1	1	1
	市川東	1	1	0
	津田沼	2	2	0
	野田中央	2	2	2
	船橋法典	2	1	1
	柏の葉	1	1	1
	昭和学院	2	0	0
	和洋国府台女子	1	1	1
	我孫子二階堂	2	1	1
	二松学舎大学附属柏	1	1	1
	わせがく	4	4	4
	あずさ第一	1	1	1
東京都	足立工業	2	2	1
	北豊島工業	1	1	1
	清瀬	2	2	1
	神津	1	1	1
	第四商業	1	1	1
	高島	2	2	0
	日本橋	1	1	1
	野津田	1	1	1
	光丘	1	1	1

都道府県	高校名	志願	合格	入学
東京都	深川	2	2	1
	松原	3	3	0
	南葛飾	1	1	1
	蒲田	2	2	2
	大泉桜	3	2	2
	青梅総合	2	2	2
	稔ヶ丘	2	2	1
	板橋有徳	1	1	0
	葛飾総合	2	1	1
	世田谷総合	2	1	1
	多摩科学技術	2	2	0
	神田女学園	1	1	1
	錦城学園	1	1	1
	正則学園	1	1	1
	普連土学園	1	0	0
	保善	2	2	1
	関東国際	2	2	0
	京華女子	2	1	0
	京北学園白山	1	1	0
	昭和第一	3	3	3
	貞静学園	7	5	5
	岩倉	2	2	0
	上野学園	3	3	2
	安部学院	1	1	1
	桜丘	3	1	0
	女子聖学院	1	1	1
	駿台学園	2	2	1
	聖学院	19	17	6
	成立学園	1	1	1
	瀧野川女子学園	3	3	1
	武蔵野	5	4	2
	北豊島	1	1	1
	東京学園	4	3	2
	日出	1	1	1
	科学技術学園	3	3	2
	日本工業大学駒場	1	0	0
	堀越	2	2	2
	芝浦工業大学	2	2	1
	城西大学附属城西	2	2	0
	東京家政大学附属女子	2	1	0
	東星学園	2	2	2
八王子実践	2	2	0	
啓明学園	1	1	1	
日本放送協会学園	8	6	3	
大成	1	1	1	
明星学園	2	1	1	
立志舎	5	3	2	
神奈川県	瀬谷	1	1	1
	岸根	2	2	0
	藤嶺学園藤沢	1	1	0

都道府県	高校名	志願	合格	入学
新潟県	巻総合	1	1	1
	吉田	1	0	0
	新津	2	2	0
	六日町	2	2	0
	柏崎	1	1	0
	高田北城	1	1	0
	直江津	2	2	0
	新潟青陵	3	1	0
	敬和学園	4	4	4
	東京学館新潟	1	0	0
石川県	金沢西	1	1	0
福井県	敦賀	1	1	1
山梨県	日本航空	1	1	1
長野県	長野西	2	2	0
	松代	1	0	0
	野沢北	2	2	0
	蘇南	1	1	1
	長野俊英	1	0	0
	さくら国際	2	2	2
	静岡県	加藤学園	1	1
	聖隷クリストファー	1	1	0
三重県	ウィッツ青山学園	1	1	1
大阪府	上宮	2	2	1
	八洲学園	2	1	1
兵庫県	第一学院(養父校)	2	2	0
奈良県	飛鳥未来	2	2	1
山口県	下関	1	1	1
徳島県	城北	2	2	1
愛知県	日本ウェルネス	2	1	1
福岡県	久留米学園	2	2	1
熊本県	勇志国際	1	0	0
鹿児島県	屋久島おおぞら	1	1	1
高校卒業程度認定試験・大学入学資格検定		11	9	6
外国の学校等		8	5	4

### インターネット出願について

聖学院大学では、AO入試[講義型][英語特別]、自己推薦入試、一般入試等でインターネットによるエントリー/出願を導入しています。メリットは①事前の願書入手が不要、②出願期間内であれば24時間出願可能であることです。ちなみに検定料納入が便利なコンビニエンスストア・クレジットカード等の振込は2015年度入試は152人が利用しました。

### インターネット出願件数(2015年度入試)

	政治経済	欧米文化	日本文化	児童	こども心理	人間福祉	計
AO講	3	0	0	4	2	0	9
自己推薦	0	0	0	0	0	0	0
一般A	9	2	7	6	4	1	29
一般B	1	2	2	5	1	1	12
一般C	10	5	2	5	0	1	23
一般D	3	1	0	0	0	1	5
一般E	3	0	1	0	1	1	6
計	29	10	12	20	8	5	84

※AO入試[英語特別]、自己推薦入試のインターネット出願はありませんでした。

# 特別入試

## 社会人入試

### 秋学期入試(2014年度)

#### <AO方式[レポート]型>

募集学科 政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科  
エントリー受付 2014年4月1日(火)～7月30日(水)  
審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

#### 2014年度 秋学期入試(社会人入試)結果

エントリー者はありませんでした。

### 春学期入試(2015年度)

#### <AO方式[レポート]型>

募集学科 全学科  
エントリー受付 2014年8月1日(金)～2015年1月30日(金)  
審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

#### 2015年度 春学期入試(社会人入試)結果

エントリー者はありませんでした。

## 帰国生入試

### 秋学期入試(2014年度)

#### <小論文・面接型>

募集学科 政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科  
審査日 2014年7月5日(土)  
審査方法 小論文、面接

#### <AO方式[レポート]型>

募集学科 政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科  
エントリー受付 2014年4月1日(火)～7月30日(水)  
審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

#### 2014年度 秋学期入試(帰国生入試)結果

志願者・エントリー者はありませんでした。

### 春学期入試(2015年度)

#### <小論文・面接型>

募集学科 政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科  
審査日 2015年1月17日(土)  
審査方法 小論文、面接

#### <AO方式[レポート]型>

募集学科 政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、児童学科、こども心理学科、人間福祉学科  
エントリー受付 2014年8月1日(金)～2015年1月30日(金)  
審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

#### 2015年度 春学期入試(帰国生入試)結果

志願者・エントリー者はありませんでした。

※2016年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

## 留学生入試

### 秋学期入試(2014年度)

#### <AO方式[レポート]型>

募集学科 政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科  
 エントリー受付 2014年4月1日(火)～7月30日(水)  
 審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

#### 2014年度 秋学期入試(留学生入試)結果

学部	学科	志願者	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	4	2	4	2	3	2
人文	欧米文化	0	0	0	0	0	0
	日本文化	0	0	0	0	0	0
人間福祉	児童	-	-	-	-	-	-
	こども心理	0	0	0	0	0	0
	人間福祉	-	-	-	-	-	-
合計		4	2	4	2	3	2

児童学科、人間福祉学科は実施せず。

### 春学期入試(2015年度)

#### <1日型>

募集学科 政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科、人間福祉学科  
 試験日 第1回 2014年10月18日(土)、第2回11月22日(土)、第3回 2015年1月17日(土)、第4回3月20日(金)  
 審査方法 日本語能力試験(作文および漢字)60分  
 面接(日本語試験合格者のみ)

#### <AO方式[レポート]型>

募集学科 政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、児童学科、こども心理学科、人間福祉学科  
 エントリー受付 2014年8月1日(金)～2015年1月30日(金)  
 審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

#### 2015年度 春学期入試(留学生入試)結果

学部	学科	志願者	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	82	29	62	26	56	24
人文	欧米文化	22	8	19	7	17	6
	日本文化	10	2	6	2	6	2
人間福祉	児童	0	0	0	0	0	0
	こども心理	0	0	0	0	0	0
	人間福祉	5	2	4	1	4	1
合計		119	41	91	36	83	33

※2016年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。



# 編入学試験

## 秋学期入試(2014年度)

### <小論文・面接型>

**募集学科** 政治経済学科、コミュニティ政策学科、欧米文化学科、  
日本文化学科、こども心理学科  
**審査日** 2014年7月5日(土)  
**審査方法** 小論文、面接

### <AO方式[レポート]型>

**募集学科** 政治経済学科、コミュニティ政策学科、欧米文化学科、  
日本文化学科、こども心理学科  
**エントリー受付** 2014年4月1日(火)～7月30日(水)  
**審査方法** 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

### 2014年度 秋学期入試(編入学試験)結果

学部	学科	志願者	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	1	0	1	0	1	0
	コミュニティ政策	1	0	1	0	1	0
人文	欧米文化	0	0	0	0	0	0
	日本文化	0	0	0	0	0	0
人間福祉	児童	-	-	-	-	-	-
	こども心理	0	0	0	0	0	0
	人間福祉	-	-	-	-	-	-
合計		2	0	2	0	2	0

募集定員は各学科若干名。

## 春学期入試(2015年度)

### <小論文・面接型>

**募集学科** 政治経済学科、コミュニティ政策学科、欧米文化学科、  
日本文化学科、こども心理学科  
**審査日** 2015年1月17日(土)  
**審査方法** 小論文、面接

### <AO方式[レポート]型>

**募集学科** 政治経済学科、コミュニティ政策学科、欧米文化学科、  
日本文化学科、児童学科、こども心理学科、人間福祉学科  
**エントリー受付** 2014年8月1日(金)～2015年1月30日(金)  
児童学科のみ 9月1日(月)～11月25日(火)  
**審査方法** 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

### <トランスファー制度>

**募集学科** 政治経済学科、コミュニティ政策学科、欧米文化学科、日本文化学科  
**出願資格** 海外の大学・短期大学のAssociate of Arts(AA) degreeを取得していること  
**出願期間** インターネット: 2014年8月1日(金)～2015年3月5日(木)12時(正午)迄  
窓口: 2014年3月6日(金)受付9:00～12:00窓口受付希望者は  
事前の連絡が必要です。  
**審査方法** 書類審査、(インターネット及び電話でのインタビューを行う場合もある)  
**出願書類** 入学願書・志望理由書(日本語・600～800字)・  
Reference(Recommendation)  
Transcript・学位取得証明書(AA degree)・健康診断書  
※検定料の収納に関しては、出願確認後、大学から連絡いたします。  
**合格発表** 随時  
**手続期間** 大学指定期間(合格発表通知後約1ヵ月以内を予定)  
※4年制大学・短期大学において、1年以上の修了者で、31単位以上を取  
得している方、または取得見込みの方は、編入学試験(<春学期入試:小  
論文・面接型><AO方式>)をご確認ください。

### 2015年度 春学期入試(編入学試験)結果

学部	学科	志願者	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	1	0	1	0	1	0
	コミュニティ政策	1	0	1	0	0	0
人文	欧米文化	1	1	1	1	1	1
	日本文化	4	3	1	1	1	1
人間福祉	児童	0	0	0	0	0	0
	こども心理	2	1	2	1	2	1
	人間福祉	3	2	3	2	3	2
合計		12	7	9	5	8	5

募集定員は各学科若干名。

※2016年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

# 入学前準備学習報告(2014年度)

聖学院大学では、AO入試や推薦入試等で早期に入学手続きを終えた入学予定者(希望者)を対象として、11月より「入学前準備学習」を行いました。これまでの入学前教育プログラム(有料・希望者受講、2-3月スクーリング制)を刷新し、全入学予定者が、より豊かなキャンパスライフを送れるよう、「全学プログラム」「学科プログラム」「eラーニングプログラム」の3つを柱とした学習を開講しました(参加費無料)。

「全学プログラム」では、豊かな人間関係を養うコミュニケーションスキルの向上、多様な学び場、居場所の構築と発見を目的に、在学生の先輩(SA)を交えたワークショップ形式のプログラムを展開しました。また、学科の専門的な学びから学習意欲の向上を図るための「学科プログラム」、基礎学力の定着を促すための「eラーニングプログラム」(ハコブネ1st STAGE)を用意し、高校から大学への円滑な移行のためのサポートを実施しました。

## 1. 全学プログラム

責任者 大高 研道      講師 奥 富美子      事務担当 ラーニングセンター事務課      SA登録学生 在学生34名

### 開催概要

開催日	第1回 11月29日	第2回 12月20日	第3回 1月24日	第4回 3月30日
参加/案内数	83/227	89/240	81/344	422/492
参加率(%)	36.6	37.1	23.5	85.8
目的	豊かな人間性と関係を養う。コミュニケーションスキルの向上			
内容	コミュニケーションスキルの向上			キャリア教育
詳細	少人数で構成されたグループでワークを行った。ジェスチャーやアイコンタクトといった言葉以外でコミュニケーションをとることや、一つの文から何通りの解釈ができることを皆で体験した。ワークを通じて、やり取りや多くの意見を認め合うということを学んだ。	「大学生」として過ごすキャンパスを知るため、少人数グループで学内散策をした。先輩学生に学内のポイントとなる場所を案内されながら、今後の姿をイメージした。	様々な人と会話をするため、会場内を動きまわって話しかけた。「話しかけるのは苦手」と思っていた参加者も、ワークが終わる頃には、話しかけることへの抵抗が少なくなったという感覚に気づいた。	4年後の姿をイメージし、その姿に向かって目標を立てた。目標を達成するために大学での過ごし方(指針)を考えることで、大学4年間を有意義に過ごせるよう考えた。

## 2. 学科プログラム

ねらい	学科の専門性や魅力を伝え、入学生同士や先輩学生たちとの交流を促す
実施回数	2-3回(11-2月)
実施形態	講義型や参加・双方向型プログラム

## 3. eラーニングプログラム

目的	学び直しによる確かな基礎学力の定着
内容	国語、算数/数学、英語を中心に理科、社会の5教科の学び直し

### 登録者人数とログイン率

学科名	登録数(辞退者除く)	ログイン人数	ログイン率(%)
政治経済	148	77	52.0
欧米文化	54	36	66.7
日本文化	67	55	82.1
児童	104	92	88.5
こども心理	43	41	95.3
人間福祉	64	53	82.8
合計	480	354	73.8

総利用時間 1,680時間(実力診断テストおよびドリルの利用時間の合算)

### 楽しく英講座 English Time

高等学校で学んだ基礎英語からステップアップするプログラム。入学後に始まるネイティブスピーカーによる聖学院英語教育プログラム[ECA Speaking]のよい準備となる講座です。講座では、実際の日常生活の英語を実践。ゲームや自己紹介、また英語でアーティストや歌について学ぶことで、友達やクラスメイトと英語でコミュニケーションし、英語に慣れ親しむことを目的としています。

**2015年度実施概要** 2015年2月23(月)~27日(金) 5日間 / 受講料 10,000円 / 参加者数 29名(2014年度 43名、2013年度 37名)